

2018年度事業計画

2018年度事業計画

I. 活動方針

アベノミクスがスタートして5年近く経過し、高度経済成長期のいざなぎ景気を越える戦後2番目の長さの景気拡大局面にあると言われている。その一方で、今日の我が国経済は、労働市場での人手不足、個人消費の伸び悩み、急速に進行する少子高齢化、財政赤字の拡大など、多くのかつ大きな問題を抱えており、依然として力強さに欠けていることも事実である。経済のダイナミズムを生み出す主役は我々であり、政府はその環境整備をする役割がある。長期停滞から脱却し真の豊かさを実現するためにも、働き方改革と経営のイノベーションがキーとなる生産性向上が喫緊の課題である。

1956年4月17日の「生産性関西地方本部」の創立以降、当本部は、労使学の三者が一致協力して、常に時代の要請に応じた生産性運動を力強く推進することに注力してきた。

創立50周年において、「企業の生産性向上から社会の生産性向上へ」の活動方針の下、それまでの活動分野に加えて、行政や学校など公的分野における生産性向上に活動の領域を広げ、自治体・大学の経営品質向上活動にも取り組んでいる。

一昨年に60周年を迎えたが、当本部は、これまでの60年の活動を振り返り、当本部のミッションたる設立目的(存在意義)、1959年ヨーロッパ生産性本部ローマ会議で謳われた「生産性の精神」、そして「生産性の三原則」は、生産性運動のまさしく“原点”として、いかなる時代においても我々にとって堅持すべき普遍の原理であることを再確認した上で、「あらゆる組織の生産性向上の支援・交流機関として関西をリードする」存在になることを当本部の新しいビジョンに掲げた。このビジョンに込めた思いは、一つは、個々の組織の課題解決を支援する活動をさらに積極的に展開していくこと、二つ目は、関西を中心とするあらゆる業種の企業・労働組合、また自治体や学校や病院などのパブリックセクターに対して、業種・業態の異なる人材と情報が行き交い、相互刺激の中から新たなインテリジェンスやナレッジを得ていただく多種多様な場を提供していくこと、最後三つ目は、生産性本部が労使学から構成されるという特徴と全国連携組織のネットワーク力を活かし、健全な労使の信頼関係と協力関係の構築に寄与しつつ、経営革新、現場改善、人材育成をより力強く推進していくことである。

本年度は、“生産性革新”を成し遂げていくのは究極「ヒト」であるとの観点から、あらゆる階層の生産性推進リーダーの育成に注力してまいりたい。

そして、こうした活動を通して、我々が住み働く関西を、持続可能な開発目標(SDGs)を実現する社会の構築とともに、「世界に輝く KANSAI」を目指して、生産性本部らしく寄与していきたい。

II. 我々のミッションとビジョン

ミッション(当本部の設立目的=存在意義)

「関西において、経営者、労働者、学識経験者の三者構成を基本に社会各層の参加を得て、時代の要請に応じた生産性運動を推進することによって、健全な労使関係の確立と内外の調和ある経済発展を図り、ひいては個が活かされる豊かな社会の構築に寄与する」

生産性の精神(1959年3月ヨーロッパ生産性本部ローマ会議)

= 基本理念(組織として大切にしたいこと)

「生産性とは、何よりも精神の状態であり、既存するものの進歩、不断の改善をめざす精神の状態である。それは、今日は昨日よりも、明日は今日よりもまさるという確信である。それはまた、条件の変化に経済生活を不断に適応させていくことであり、新しい技術と新しい方法を応用せんとする努力であり、人間の進歩に対する信念である」

生産性運動の三原則

1. 雇用の維持・拡大
2. 労使の協力と協議
3. 成果の公正配分

KPCビジョン

「あらゆる組織の生産性向上の支援・交流機関として関西をリードする」

活動の評価ものさし

① 賛助会員数の維持・拡大

年度	入会	退会	増減	会員数(組織数)	会費収入(千円)
2013年度	17	40	-23	691	128,717
2014年度	18	14	+4	695	126,715
2015年度	16	27	-11	684	126,227
2016年度	11	32	-21	663	123,627
2017年度 (3/22現在)	8	29	-21	642	123,214

② 研究会、セミナー、長期講座などの有料事業や診断指導活動を利用する会員組織、非会員組織数の維持・拡大

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	前年比(%)
～13事業参加者総数(人)	19,526	会員 408	会員 387	会員 393	会員 384	-2.3%
13～事業参加組織数		非会員 569	非会員 687	非会員 590	非会員 565	-4.2%
事業収入(千円)	346,901	371,556	330,201	349,848	305,533	-12.7%

※2012年度まで事業参加者の延べ人数(参加人数×実施日数 診断指導・受託教育・出前教育は件数。全国大会含む)で比較した。

③ KPC全体の活動に対する会員の評価

「賛助会員アンケート2016」から

Q: 2016年度の当本部は、創立60周年を迎え、新たな活動ビジョンを「あらゆる組織の生産性向上の支援・交流機関として関西をリードする」と定めるとともに、(1)創立60周年を一つの節目として

当本部の役割と存在感を高める、(2)生産性向上をベースとして継続的な経営革新を推進する、(3)生産性運動を基軸とした健全な労使関係の構築と労働組合活動のさらなる活性化を推進する、(4)次代を担う生産性向上推進リーダーを育成し、組織活性化へ寄与する、を事業の柱として、多彩な事業を実施してまいりました。当本部が展開する各種事業活動をどのように評価いただいておりますか。

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
高く評価している	21%	22%	17%	17%	21%
評価している	57%	58%	56%	62%	60%
どちらともいえない	22%	18%	25%	20%	18%
評価していない	0%	0%	0%	0%	1%
全く評価していない	0%	0%	0%	0%	0%
その他・無回答	0%	2%	1%	1%	1%

調査対象：全会員組織を対象（2016年度 回答率 24.3%）。

Ⅲ. 2018年度活動の柱

あらゆる組織における生産性向上のために、創立65周年を視野に置き、2018年度は、

1. 継続的な経営革新の推進に貢献していきます
2. 生産性の精神、生産性の三原則をベースとする健全な労使関係の構築に貢献していきます
3. 労働組合活動のさらなる活性化に貢献していきます
4. 次代を担う中核人材の育成に貢献していきます

を活動の大きな柱と位置づけ、これらの目標達成のために、労・使・学の三者構成という特徴ある組織構成を活かして、

- ・次代を担うリーダーの育成
- ・異業種・異職種メンバーによる相互刺激・学びの場の提供
- ・生産性に関する最新情報の提供
- ・個別組織での人材育成、活力ある組織づくり、経営革新やモノづくり革新活動の支援
- ・全国の生産性本部や関連機関との連携活動

を通して、“世界に輝くKANSAI”の創造、さらには豊かな社会を構築していきます。

Ⅳ. 事業項目

※印の新規事業12を含む106事業

1：経営革新《公益目的事業1》

(1)委員会

1. 中堅企業経営委員会
2. 関西経営品質協議会
幹事会、企画実践委員会
関西経営品質賞委員会・判定委員会・賞制度企画委員会
3. 関西インダストリアル・エンジニアリング協会（関西IE協会）幹事会、運営委員会

(2) 事業

1. 中堅企業研究会（7月～2018年3月 5回）
2. KPC中堅企業『経営塾』（7月27日～10月26日 13日間）
3. 経営研究会（6月～2018年3月 10回）
4. ロジスティクス研究会（7月～2018年3月 10回）
- ※5. サービスデザイン研究会（7月～12月 6回）
- ※6. コーポレート・ガバナンス研究会（9月～2019年3月 5回）
7. 「技術経営」交流研究会（6月～12月 7回）
- ※8. データサイエンス人材育成塾（9月～2019年2月 6回程度）
9. サービス産業生産性向上プロジェクト（SPRING連携活動）（随時）
SPRING シンポジウム、日本サービス大賞 など

<関西経営品質協議会>

10. KQCフォーラム（6月～2019年3月 6回）
11. 経営品質セミナー（7月～12月 3回）
12. アセスメントコース（A1、A2、A3とも2日間 3回）
A1基礎編（①6月 ②10月 ③2019年1月）
A2体験編（①7月 ②11月 ③2019年2月）
A3実践編（①8月 ②12月 ③2019年3月）
13. 経営イノベーション・フォーラム2018（2017年度関西経営品質賞報告会）
（6月 1日間）
14. 2018年度関西経営品質賞（10月～2019年2月 賞説明会、審査員研修・選考、申請、審査、判定、フィードバック、表彰式、報告会）
15. 「西日本アセッサーフォーラム」の支援（随時）

<関西インダストリアル・エンジニアリング協会（関西IE協会）>

16. 第59回全国IE年次大会（7月24日～25日 2日間 横浜）
17. 2018年度関西モノづくり大会（10月23日・24日 2日間）
18. 関西モノづくりフォーラム（5月～2019年2月 5回）
19. 協会誌『IEレビュー』（年5回発行）
20. 【管理・監督者向け】モノづくり人材のヒューマンスキル向上研修
（10月11日 1日間）
21. 【若手・中堅社員向け】モノづくり人材のヒューマンスキル向上研修
（11月20日 1日間）
22. IE実践セミナー
①入門コース（①7月 ②2019年1月 各1日間 2回）
②基礎コース（2019年2月 1泊2日）
③応用コース（2019年3月 2泊3日）
- ※23. IE手法セミナー（未定 各1日間 3回）
24. 生産現場改革・改善力強化セミナーシリーズ
①工場長・製造幹部のための生産現場改革実践セミナー（6月19日 1日間）
②5S・見える化セミナー（7月10日 1日間）

- ③生産現場のリーダー力強化セミナー（9月6日 1日間）
- ④「6M問題解決法」による問題解決力向上セミナー（12月13日 1日間）
- ⑤生産計画・工程管理力強化セミナー（2019年2月5日 1日間）
- 25. ポカミスゼロへのアプローチセミナー（未定 1日間）
- ※26. 不良ゼロへの具体的アプローチセミナー(仮称)（未定 1日間）
- 27. “周辺視” 目視検査法セミナー（未定 各1日間 3回）
- 28. 生産現場研究会（6月～2019年1月 5回）
- 29. 若手マネージャーのための異業種交流会（6月～2019年1月 6回）

2：ユニオン・イノベーション《公益目的事業2》

(1)委員会

- 1. 労働政策委員会
全国労組生産性会議

(2)事業

- 1. 第29回労働トップフォーラム（6月9日 1日間 大阪）
- 2. 労働組合研究会（11月～2019年8月 8回）
- 3. 新ユニオン度診断システム（随時） 《収益目的事業1》
- 4. 労使次世代リーダープログラム「押しかけ問答三番勝負！」
(11月～2019年2月 9日間)

3：雇用開発・労使関係《公益目的事業2》

(1)委員会

- 1. 労使関係委員会

(2)事業

- 1. 労使政策研究会（12月～2019年6月 7回）
- 2. 人事労務研究会（6月～12月 8回）
- 3. 賃金基礎講座（10月 2日間）
- 4. 西日本生産性会議2018（7月26日・27日 2日間 神戸）
- 5. 関西労使政策フォーラム（2019年1月下旬 2日間）
- 6. 人事考課の基本スキル向上セミナー（①9月 ②2019年1月 各1日間 2回）
- 7. メンタルヘルス研究会（6月～2019年2月 8回）
- 8. 働く人の心の定期健康診断(JMI 健康調査)（随時）
- 9. キャリアコンサルタント養成講座(厚生労働大臣認定講習)（9月～12月 12日間）
- 10. キャリアコンサルタント更新講習（7月～2019年3月 各2日間 6回）
- 11. キャリア・クロス会（随時）
- 12. 大学キャリア・アドバイザー養成講座（8月～9月 総合講座2日間 登録試験1回）
- ※13. キャリア支援室立ち上げ支援事業（随時）

14. 人事実務セミナー (①10月 ②12月 ③2019年2月 各1日間 3回)
15. 労働法研究会 (5月～2019年2月 10回)
16. 労働法基礎講座 (10月 2日間)
17. 活用労働統計発表会 (2019年1月 1日間)
18. 社会保険制度基礎講座 (11月 1日間)

4：人材育成・開発《公益目的事業3》

(1)委員会

1. 人材開発委員会

(2)事業

1. 第38期内外のトップを囲む懇談会 (12月～2019年10月 10回)
2. 第40期経営幹部交流セミナー
(7月～2019年3月 約30日間(含海外研修(ヨーロッパ・アジア))
関西経営幹部交流懇談会(ME S T) (合同ならびに各期 随時)
3. KPCマネジメントスクール2018
(経営戦略コース、技術・イノベーションマネジメントコース
7月～2019年2月 各20日間程度、フォローアップ研修)
- ※4. 技術・イノベーションマネージャー塾 (5月～12月 8回)
5. ダイバーシティ・マネジメント推進者養成コース (8月～12月 9日間)
6. 第53期グローバル・マインド養成講座 (10月～2019年3月 10日間)
7. 第16回アジア・ビジネススクール
(国内研修:8月21日～23日 2泊3日 アジア研修:9月15日～21日 7日間)
8. 企業内「組織開発 (OD)」推進者養成コース (5月～12月 12日間)
9. 人材開発研究会 (6月～2019年2月 8回)
- ※10. 採用戦略研究会 (7月～12月 6回)
- ※11. 新卒・若者採用力強化支援事業 (12月セミナー開催、個別支援は随時)
12. 厚生労働省ビジネス・キャリア制度検定認定講座 (通信講座 随時)
13. インテリジェントアレー撰壇塾
(前期:6月～8月 10回、後期:11月～2019年2月 10回)
14. 階層別研修
 - ※取締役・執行役員コース (10月17日～19日 2泊3日)
管理者基礎コース
(①11月14日～16日 ②2019年2月20日～22日 2泊3日 2回)
 - 職場リーダー基礎コース
(①11月14日～16日 ②2019年2月20日～22日 2泊3日 2回)
 - ※中堅社員自己活性化コース (11月14日～16日 2泊3日)
15. マネジメント・ケイパビリティコース「養成コース」(9月～11月 6日間)
16. 研修総点検セミナー (9月 1日間)
17. ロジカルシンキング研修 (①7月 ②10月 ③2019年1月 1日間 3回)

18. 女性リーダー交流フォーラム（11月～2019年3月 5回）
19. 関西キャリア教育支援協議会（4月～2019年3月 随時）
20. 学校経営・イノベーション研究会（6月～12月 6回）
21. コーチングスキル開発研修（7月 2日間）
22. 上手な「ほめ方」・「叱り方」講座（未定 1日間）
- ※23. 『働き方改革』の取り組み方セミナー(仮称)（3月 1日間）
- ※24. 仕事を効率的に行うための決断力セミナー(仮称)（6月6日 1日間）
25. 留学生支援活動（グローバル人材活用運営協議会との連携活動）（随時）
26. 教育研修用視聴覚・ビデオ販売（随時）《収益目的事業1》
- ※27. 大学院教育のあり方を考える調査団(仮称)
（事前・事後研修・報告会 海外調査8月～9月 約15日間）

5：診断指導・受託教育《収益目的事業1》

1. 経営相談（随時）
2. 経営診断・指導（随時）
3. 企業内教育訓練(研修)（随時）
4. 労働組合改革指導・教育(研修)（随時）
5. 経営品質・組織革新サーベイ（随時）
6. 経営品質チャレンジプログラム・経営品質スタートプログラム（随時）
7. 経営品質アドバイザー派遣

6：運営・地域交流

(1)運営（役員会・委員会）《法人会計》

1. 理事会（①6月4日、②2019年3月22日 2回）
2. 評議員会（①6月19日、(臨時)2019年3月22日 2回）
3. 運営幹部会（①9月4日、②2019年1月23日 2回）
大阪経済記者クラブとの懇談会（2019年1月23日 1回）
4. 総務政策委員会（①5月17日、(特別)8月3日・4日 1泊2日、②11月21日、
③2019年3月7日 4回）

(2)地域交流事業《公益目的事業4》

1. 関西生産性大会2018（4月 半日間）
2. 賛助会員集会「KPCフォーラム」（年3回）
3. 機関誌『KPCNEWS』（季刊 年4回発行）
4. KPCホームページなど広報
5. 海外視察団フォローアップ研修会（随時）《法人会計》
6. 海外視察団受入れ（随時）《収益目的事業1》
7. 第31回KPC定期調査（11月～2019年1月）
8. KPC会員アンケート《法人会計》

9. 全国機関紙『生産性新聞』（毎月5・15・25日 3回発行）
10. 「生産性手帳」販売《収益目的事業2》

《備考》 17年度事業(未実施分も含む)で18年度実施しない事業 15事業

<経営革新>

- ・不祥事対策実践セミナー、営業・マーケティング研究会
- ・産業経理研究会、サービス業の生産性向上講座、法人税研究講座、経営品質推進研究会、
- ・神戸大学大学院“経営品質マネジメント特殊研究”、
- ・神戸大学経営学部トップマネジメント講座「経営品質賞受賞企業に学ぶ経営革新」、
- ・モノづくり視察会、ものづくり現場における『働き方改革』セミナー、
- ・事務所の「5S導入セミナー」、現場で使える標準整備セミナー
- ・技術伝承・品質向上セミナー

<雇用開発・労使関係>

- ・訪米生産性向上推進調査団

<人材育成>

- ・KPCマネジメントスクール マーケティングコース

以 上